



●さわやかインタビュー

65歳は 再び「青春」!?

深井辰三さんを訪ねて
〈兵庫県民生部長〉

全国的に今、高齢化社会の到来ということで様々な問題が生まれている。このような状況に対して、兵庫県では、高齢者の生きがいづくりや就労支援など様々な手だてを講じている。そこで、今回は、野球に書道にお煎茶に、と幅広い趣味をお持ちの深井辰三兵庫県民生部長を部長室にお訪ねした。

大好評の「老人大学」

——スポーツが大変お好きなようですが。

深井 ええ。特に野球が好きで、小学生の頃から、今で言う少年野球をしておりました。取り組んだ動機は単純で、何とかして身長を伸ばしたかったので、あらゆるスポーツをやりましたね。今でも、役所の野球チームではピッチャーをしているんですよ（笑）。

——凄いですね。入口の書も部長さんの作品ですね？

深井 書を始めたのは、自分をふり返る時間がほしい、という気がして。毎日筆をとるんです。墨を磨ることで、気持ちが落ちつくんですよ。特に40代になってからは、どんな時間に帰っても筆をとります。持たないと寂しい

気がしますね。

——そのくらい趣味を持っていますと、年をとってから退屈しないですみますね（笑）。やはり、生きがいづくりをしていきますとね。

深井 今、私共でやっていますのは、「老人大学」です。ご存じだと思いますが、昭和44年にできた「いなみ野学園」は、日本で最初の老人大学なんです。それぞれの知識を活用したり、意見を交換したりして、ほんとうに楽しそうです。いなみ野だけでは足りませんので、ずっと県下に広めてますが、今年で28箇所になりました。それぞれの地域で勉強していただいています。

——確かラジオ関西とも連携していましたね。

深井 寝たきりであるとかで、大学まで通えないお年寄りのために、放送大学というのを昭和52年から始めました。本部はやはり、いなみ野学園にあります。普段、耳で聞いておられるだけで、同じ放送大学の学生でありながらいっしょにお集まりになることがないので、年に一度、兵庫県の老人休養ホームなどにお集まりいただいていっしょに食事をしたりお風呂に入ったり、1泊2日では



船の甲板上で、元気いっぱいに早朝体操をする「高年洋上大学」の参加者たち。

行います。いろんな意味で交流の場となり、なかなか好評ですね。ラジオで募集をするのですが、土曜日の朝6時30分からというのにもかかわらず、皆さんよく聞いておられて、たくさんのお応募がありますよ。

—他にはどんなことをされてますか。

深井 もう一つは、県下の21市70町と県がいつしよになって、「兵庫県高齢者生きがい創造協会」というのを昭和52年につくったんです。知事の願いは、行政へのおんぶではなく、皆さん自身で生きがいを見つける努力をしていただきたい、ということで、この生きがい創造協会が高齢者のひとつの情報センターであり、趣味活動の根拠地になれば、と思います。協会で作品を創る、販売する、その利益で運営していくというのが理想なんです。

—お年寄りもがんばる、お役所もがんばる、ですね。

パワーあふれるシルバーエイジの高年洋上大学

深井 その他にも「高年洋上大学」というのを、4泊5日で行ってます。65歳以上の方ばかりで、船で沖縄まで

往復する間に、ちよっとした講義を組み込んでるんです。

「老人の船」というのを10年前から行ってきましたが、11年目の昨年からは、単にお年寄りにふれあいの場を提供するだけでなく、老人グループのリーダーを養成するという意味も加え、名前も、高年洋上大学としました。私は、学長代行として、この高年洋上大学に乗りました。それとは別に、18歳〜83歳までのいろんな年代の集まる「県民の船」にも団長として乗ったんですが、県民の船で、海が荒れた時に、船酔いをして部屋でゴロゴロしてるのは若い連中。お年寄りはほんとうにお元気でしたね（笑）。ダンスはするわ、たのしいという感じですね。

—今や70歳ぐらいいまで現役で感じてですね。

深井 社会の仕組みがね、人生50年で仕組んであるでしょ。やはり、平均寿命に合わせて、人生80年という社会の仕組みに徐々に変えていかないとね。皆さんほんとうにお元気ですよ。兵庫県では、90歳以上で、なお第一線で活躍をされている方に、高齢者特別賞というのを贈りそれをたたえる制度を昭和53年から始めております。

—最後に、今後特に考慮しておられることは？

深井 何といっても、元気なお年寄りであってほしいということですね。寝たきりの老人とか、本当に困っておられる方に援助するのは当然ですが、なんでも行政にという考え方はこれからの世の中では通用しなくなると思うんです。「平等な給付、公平な負担」という社会的公平の実現が望まれるわけです。行政としてやるべきことは当然やりますが、生きがいにしても、何にしても、やはり、それぞれがやる気になっていただかないとね。いろいろ蓄えられた能力や経験を地域にも還元していただく、地域もそれに協力をする、また、人間社会の基本である家庭においても、人生の先輩として、若い人いろいろなことを伝えていく。それが知事の言われる「ともに生きる」社会だと思えます。そういうふうになるように、行政は行政の立場で一生懸命やりますので、老人の皆さんも努力をお願いします。

FASHION●REPORT

創業80周年を迎えて

感謝の気持ちを楽しんで 観ていただけるショーで

芹澤豊男さん(株セリザワ・代表取締役社長)を訪ねて

常に大人っぽい「美しさ」「優雅さ」を生み出しているセリザワファッション今年、創業80周年を迎え、10月3日に神戸ポートピアホテル・倍楽の間で「セリザワ・メモリアルショー」と題したファッションショーが開かれた。感激も新たな芹澤豊男社長をインタビュ。

——今回のショーは、全体に洗練された感じで大好評ですね。

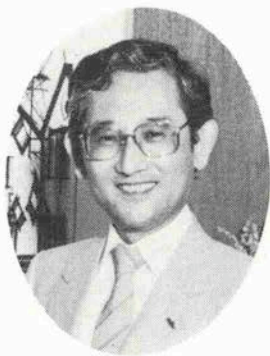
芹澤 おかげさまで。精一杯がんばった甲斐がありました。でも、昨年の11月の企画から始まって、衣裳集め、それに付属する帽子、靴、アクセサリーのこ。また、ステージづくり、構成など本当に大変でしたね。社内、社外ともにスタッフがよくやってくれたおかげで、滞りなくできたと思っています。

——来られた方の反響はいかがでしたか。

芹澤 専門店としては、あれだけ大掛りなショーは初めてだということで、誉めていただきました。

——商品構成は？

芹澤 セリザワインターナショナルのブランドが約75%で、あとはうちのオリ



芹澤 豊男社長





ジナルです。

——シヨ一の構成で工夫された点はどこですか。

芹澤 タウン感覚のものをいかに楽しく観ていただくか苦勞しましたね。また、シヨ一の最初のカジュアルエレガンスは、今までのセリザワになかったもので、シヨッキングだったようですね。うちには紳士服もおいてますので、男性モデルも起用したんです。ジャンニ・ペルサーチのファツシヨンやランチェッティのタキシードは、特に人気がありましたよ。

——男性がいるから、より女性性が素敵なんですよ。毛皮も豪華でしたね。

芹澤 音と光の演出に工夫を凝らしたんです。また、インナーも含めて全体にモノトーンでまとめたのもよかったですよね。

——世良 讀さんやジェリー伊藤さんなどのゲストもよかったみたい。

芹澤 今回は、あくまで感謝の気持ちをこめて、皆様に楽しんでいただくためのシヨ一だったので、PR的な部分を入れてなかったんですね。シヨ一の途中でジェリー伊藤さんのおしやべりが始まって「宝石も毛皮も信用が大事です。セリザワさんはO・Kです」というPRをしてくれたのですが、全く打ち合わせをしていなかったのてハラハラしましたが、さすがに上手く、神戸的なシャレた感覚でサラリと言っていただけでホッとしました。

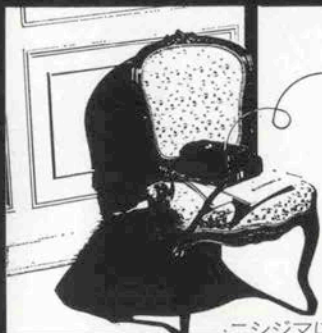
——あの一言がすごいPRになってましたよ(笑)。いろんな点で本当にいい演出だったと思います。

芹澤 最初は5月に予定していたんですが、結果的に準備も十分できてよかったです。

——最後に今後の抱負などお願いします。

芹澤 80周年は、2度と来ないし、一つの節目として、これだけのシヨ一ができてよかったと思っています。来ていただけなかったお客様には、本当に申し訳がなかったのですが、普段のおつきあい、感謝の気持ちをお返していきたいと思います。

バッグ・帽子も洗えます。



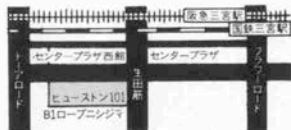
手にもつバッグは
手アカで
汚れています。
一度ニシジマで
リフレッシュして
みませんか。

ニシジマにご相談ください。



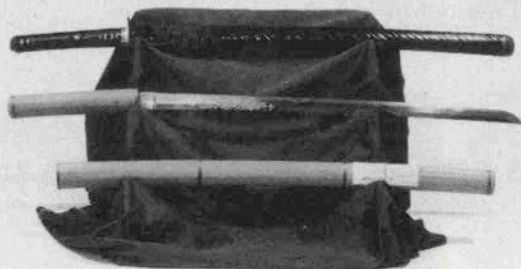
● サービス内容 ●

- 型くずれの防止 ● 素材感の回復 ● お客様の好みに合せた仕上
- カルテの作成 ● ファッション、クリーニングの最新情報の提供



神戸市中央区三宮町2丁目10番7号
ヒューストン101 ☎(078)332-2440

刀剣 古美術



刀 拵つき 新刀 銘/美濃守藤原政常 2尺1寸5分
龍の彫物あり 特別提供価格 ¥1,500,000

- 毎月20日無料鑑定 ● 研磨、白サヤ、その他工作
- お支払いに便利なローンをご利用下さい。

兵庫県美術刀剣商組合事務局

刀剣の **元所美術**

店舗ビル改築のため仮店舗にて
営業致しております。

神戸市中央区花隈町
20-6 (阪急花隈駅西口北へ徒歩1分)
☎(078)351-0081



経済ポケット ジャーナル

★兵庫県中堅企業大会

「原点からの再出発」をテーマとした「兵庫県中堅企業経営者大会」が9日、約150人の経営者を集めて神戸国際会議場で開かれた。



小倉昌男社長

冒頭、長部文治郎中堅企業委員長が「低成長下に果たす中堅企業の役割りは大きい」と開催趣旨を説明。

「ヒト」「モノ」「カネ」をテーマに、日本HR協会の山田宏専務理事、ヤマト運輸の小倉昌男社長、マネージメント実務センターの窪田千貫所長がそれぞれ講演した。小倉昌男氏は新時代の物流について「3次産業は小規模、多店舗、長時間労働の時代だ。流通業の業態化を考える必要がある」と指摘、さらに「作ること



より売ること」の必要性を説いた。ゼミナールは5時間を経費した後、閉幕した。

★シャルレ新社屋落成

ポートアイランドのファッショントアウンに建設中だったシャルレの新社屋が完工、9月22日ポートピアホテルで落成記念式典が催された。出席者1000人の大半がホームパーティーセールの担当する代理店者たちであるあたり、代理店を大事にする林雅晴社長の経営感覚がうかがわれた。



林雅晴社長
F.A.の川上勉理事

長は「新しい風を吸って大きくはばたかれんことを」と言葉を送った。

林社長は「シャルレは創業以来9年だが、企業は10年たたなければ一人前ではない。さらに努力したい」と決意を新たにしていた。

★近畿菱重興産が

テニスクラブを経営

不動産仲介、分譲の近畿菱重興産は経営多角化の方針から、来年4月にテニスクラブ経営に着手する。同社は今春、企画課を新設、その第1号となるが、結果



4月オープンするテニスクラブ

次第では新プランも期待できそう。

テニスクラブは須磨区高倉町1丁目に建設。コートは4面、うち1面は屋根をとりつけ全天候型となる。会員制(短期2年制)とスクールの形式。会員制は約200人(入会金約10万円、月間会費5千円)スクールは約45クラス(週1回、3カ月で1万5千—1万8千円)。

年末から年始にかけて募集の予定。

★六甲アイランドに8社の進出が決定

神戸市は六甲アイランド北埠頭の都市再開発用地に進出する企業を募集していたが、このほど8社の進出が決定した。募集は灘区、東灘区の工場経営者に限られたもの。

進出企業は、兵庫三菱、そう自動車販売、林建設工業、神戸化学工業、松岡木材工業、ネオス、島文工業本高砂屋、小倉屋柳本で、総面積は6万4200平方メートル。市は「六甲アイランドも軌道にのってきた今回の決定はそれにはずみをつけるもの」と述べ、決定に満足の様子。神戸の産業界に新しい動きが起ころうと見られる。

★KOBEOフェイスレディ★

山本時基子さん(22)

△顔イズム▽

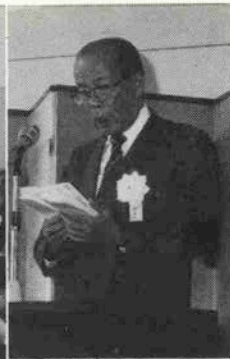


甲南女子短大から一年前に入社、総務関係の仕事をしている。学生時代のファッションは「ニュートラだった」が、現在は「欲張りになった」そうで、あれこれチャレンジ中。明朗活発な性格は、アパレルで伸び盛りの同社にピッタリ。

スポーツマンで文化や芸術を愛する男性に憧れる。趣味はスポーツと旅行。

□第7回井植文化賞表彰式

充実した受賞者
顔ぶれも多彩に



上右／挨拶する井植祐郎理事長、左／表彰風景 下右／受賞者代表の挨拶をする辻荘一氏 左／受賞者 左より辻荘一夫妻、昇外義夫妻、井植祐郎、田村新一郎代表、小西光代表、米田寛子の各氏

文化芸術、社会福祉など兵庫県下で、めざましい活躍をした個人や団体に贈られる第7回井植文化賞（主催：財井植記念会）の表彰式が秋晴れの9月3日、垂水区青山台の井植記念館で行なわれた。

同賞は、三洋電機㈱の創設者、故井植歳男氏の遺志によって昭和48年に設定されたもので、第6回（昭和57年度）より、それまでの隔年から毎年一度の授賞となったことも加わり、受賞内容もさらに豊かなものとなった。今回の受賞者は、文化芸術部門／昇外義（日本画家）、科学技術部門／辻荘一（神戸大学農学部助教授）、社会福祉部門／米田寛子（兵庫県難病団体連絡協議会事務局長）、地域社会部門／明延ふるさとづくりの会、報道出版部門／神戸新聞淡路総局「淡路記事」の3個人2団体。

表彰式には関係者や安藤四一氏らこれまでの受賞者もお祝いに駆けつけ、約90人が出席のなか、井植祐郎理事長は「井植文化賞設定の意図に対して申しぶんのない立派な受賞者を世に送り出すことができ、大変嬉しい」と挨拶。各部門の選考経過報告の後、各受賞者に賞状とブロンズ像、副賞が贈られ、受賞者代表で辻荘一氏が挨拶に立った。その後、井植記念会理事、後藤清一氏の乾杯の音頭によって、なごやかな祝宴となった。

話題のひろば

<II>

□昭和58年度神戸市文化賞贈呈式

実りの秋に ふさわしい収穫

収穫の季節、みごとに秋晴れの10月1日、恒例の神戸市文化賞、文化奨励賞の贈呈式が、ポートアイランド、神戸国際会議場で行なわれた。

贈呈式は、昨年とは趣きをかえ受賞者と関係者だけによる質素ながら格調高いものとなった。

今年の受賞者のうち、文化賞には、日本画壇の重鎮、菖蒲大悦さん、神戸洋画界の中心的な存在になう石阪春生さん、兵庫県美術家同盟の中心的メンバーとして活躍著しい洋画家、山本萬司さん、陶芸部門では、丹波立杭焼の市野弘之さんが受賞。

音楽部門では、神戸室内合奏団音楽監督の岩淵龍太郎さん、芸術部門では、国際経済理論の藤井茂さん（神戸大学名誉教授）、社会部門では、福祉・文化都市づくりや青少年の健全育成に高い功績をのしつた今井鎮雄さん（神戸YMCA総主事）と、関西棋界の第一人者橋本宇太郎さん（関西棋院）が受賞した。

また、将来を嘱望される中堅に贈る文化奨励賞は、日本テレマン室内管弦楽団の常任指揮者、延原武春さんが受賞した。

式は宮崎市長による賞の贈呈の後、市長と受賞者を囲んでなかなか雰囲気の中で昼食会が行なわれた。



昭和58年度

神戸市文化賞・文化奨励賞贈呈式



上右／宮崎辰雄市長より、表彰状をうける洋画の山本萬司夫妻 下／左より、菖蒲大悦、石阪春生、山本萬司、市野弘之、岩淵龍太郎（2人おいて）藤井茂、今井鎮雄、橋本宇太郎、延原武春の各氏



●座談会

元町誕生110年 原点に帰って 元町のよさを

Old Motomachi



—元町が110周年を迎えたことは大変喜ばしいかぎりです。といっ
て喜んでばかりもいられません。

三越撤退問題も含め元町に沈滞ム
ードが漂っていることも事実です
10年の伝統を踏まえ、将来元町が
どうあるべきか、みなさんに話し
合っていたきたいと思っています。

芦原 元町の地盤沈下ははっきり
言って市政の偏り過ぎに問題があ
ると思います。三越の問題にし
ても然り。三宮ばかり一辺倒に開
発して、西の方にはそっぽを向い
てきた。昔の元町は西から、つま
り三越の方からお客さんが入って
きたもんです。それが市政の偏り
でおかしなことになってきた。市
に攻撃の形になったが、実際噴り
を感じてますね。

秋澤 私はショッピングエリアと
いうのは二眼レフでないといカン

■出席者

芦原 博之
〈紳サノヘ社長〉

秋澤 三夫
〈神戸大丸店長〉

下村 光治
〈神戸風月堂社長〉

安達 昭三
〈フナキヤ社長〉

鳥越 哲
〈神戸眼鏡院専務〉

と思います。東京で言えば新宿
と銀座みたいに。新宿は新しい町
と銀座は伝統的。その一眼同士が競
ってこそ魅力的な都市になると思
います。神戸も将来をみれば三宮
と元町の相互の発展が大切だと思
いますね。

安達 神戸全体で考えてみると、
いわゆる神戸が日本一の町だと言

われたのが昭和10年から15年にか
けてです。当時は御影から須磨ま
での間、それと六甲山から南側で
100万の人口があつたんです。とこ
ろが現在は芦屋、明石、三木、三
田のエリアを含めて130万人。面積
は何十倍になりながら、人口は一
・三倍でしかない。売り場面積に
いたっては四十倍にもなりながら
です。完全に人口と売り場のバラ
ンスが崩れてますからね。以上は神
戸全体の話でしたが、神戸市の投
資が元町に向けられなかったのは
大きな問題です。

下村 ここまで悪くなった元町な
んやから、もう下がることはない
はず。後は上がるしかない。私は
それぞれがもっと企業努力をせな
アカンと思う。たとえばね、百貨
店が10時に開けて7時に閉めるの
に習った営業してはイカンの



鳥越 哲さん



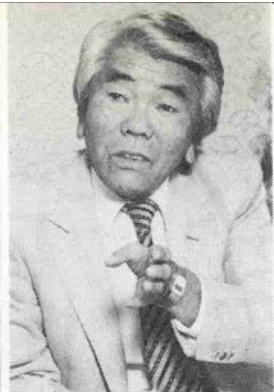
安達 昭三さん



下村 光治さん



秋澤 三夫さん



芦原 博之さん

ですよ。1時間早く開け、1時間遅く閉めて客を拾うという具合にしないと。そうすれば元町はまだイケルと思う。

鳥越 確かに元町はどん底やろうけど、可能性は十分ある。私の知ってる範囲では行政とのつき合いが十数年前からなかった。あれば三越も違った形になってたと思う。行政がやってくれるのを待ってるだけじゃなく、こっちからも働きかけていかなアカンわね。近い将来のメリケンパークにしても有効なものしていく努力せんとね。湊川貨物駅跡地に市庁舎を移す話も本気ならくっついていけばええと思う。また三越跡地に情報産業が入ってくれば雰囲気も変わってくるんやけど。ともかく今までイカンかったのは、おこぼれだけでも、何もせんかったことやと思う。

芦原 たとえば今まで積極的に店舗の改造や、都市計画に参画していこうとした店主が何人ございました？ 家も土地も自分のものやから冒険せんでもやっていける、そういう安易感が落ち込みを招いたともいえる。特に四丁目から西にそういう姿勢が顕著やったと思う。しかし世代もジュニアに移行しつつある。若い人が積極的になってくれればと思います。それとさきほどからの話し合いで行政を

利用することができなかったと気づいたわけですから、地域ぐるみで行政にブッシュしていく、対応していきたいと思います。

★原点に帰って元町をPRする

秋澤 百貨店の業績低迷は高度成長時代に画一的なモノを追及しすぎたことに原因がある。低成長期にはいつて、消費者が個性化してくると対応できなくなってきた。これは反省すべき点です。商店街も同様で、各店舗の個性化に加え

元町にしかない商店街の味をつくっていく必要があると思う。さいわい元町には異国情緒のイメージが強いですから、このイメージを推し進めていけばと思います。

下村 10年も続いたというのは良いから続いたわけで、悪けりや途中で消えてしまってますわね。

うちのことで恐縮ですけど、うちのモンによくはやってるレストランにメシ食わせにやらせた。食べてきた後で意見聞いたら「昔の味でんな」というわけ。昔の味だろうが、今の味だろうが、うまけりやいい。うまけりや客がくる、新しい味をこさえても客が来なけりやアカン。そこところをもっと考えていかなアカせんわね。

安達 きのも貿易商社の人と話してますと、「元町は土曜、日曜は強いでんな」とおっしゃるんです

ね。「どういうことですか」と聞きますと「当社のブランドの販売坪効率が三宮を追い越して元町は非常にいい」とおっしゃる。土曜日曜というのは他都市からお客様がいらっしゃる。他都市の人には元町はグレードの高いところだと認識している人が多い。それが具体的に坪効率という数字に表われているんですよ。元町は専門店の町なんです。一軒一軒の店のデイファレンス、おもしろさを打ち出していくこと。さらに商品のセレクトにしても同じ柄なら単価の高い物を置く、といったポリシーでやり続けねばいけないんです。下村さんが以前言った言葉を借りれば「三宮のような鋳物の町にするな」ということです。

荻原 実際、商売をやる以上は売れなきゃいかん。とにかく原点に帰らなアカンと思いますよ。一見さんとおとくいさんを比較するときどちが大切か、一見さんなんですよ。一見さんは値切りもしないし、現金を払って下さる。おとくいさんはしょっちゅう来るかわりに、買ってもめったに銭を払っていかんわけですよ。(笑)新しいお客さんを大事にし、つかまえていく、そういう原点に帰った商売を従業員教育を含めてやっていかなアカン思います。

秋澤 商売をするにはお客さんが

どういうルートで足を運ぶかも考えないけませんね。元町には国鉄、阪神と駅がある。ただバス路線から来るお客さんがないんですよ。バスもね、西の方は整備されているんですよ。しかし問題は東、六甲や灘の山手のお客さんによく言われるんですよ。三宮でバスが終点になってしまいうから元町にいくのがかなわんとね。あのあたりのお客さんは元町によくいらつしやいますから、見直しが必要だと思えますね。

もう一つは、今はPR時代です。から自分の個性を相手に訴えていくことです。それとも思いつきで散発的にやっていくんではなくてかなり長期にわたって計画的にPRしていくことです。

鳥越 今の話にも関連するんですけど、商店街そのものが客をひっぱってくと誤解する向きもあるんですね。客をひくのはあくまで店であることを自覚せんといかんわね。ハコがrippばで中身がないということになりかねない。そのためには少々の衝突やトラブルがあってもいいから、ナアナアの今までの平均的な姿勢を打破するため、最大公約数の意見を中心にして思いきってやっていくべきやと思う。

★足並を揃えてやっていく

下村 宮岡助役も言ってはりましたけど、元町の線路より南側に人が住んでいない。だから住むようにしていきたいと。おっしゃる通りで、道路を広げ、マンションを建てていけばええ町になりまっせ。

安達 元町への足として、国鉄元町駅利用が75%なんです。それにしても駅が汚いから改修してほしい。次に地下なり、オーバープリッジなりで、人を元町へ誘導するようにしてほしい。雨の日の惨めさを考えると検討してもらいたいですね。市電がなくなった後、バスになったが円滑には動いていない。また駐車場の問題にしても、神戸駅周辺と三宮に集中して、元町は単なる通過点になってしまっている。ですから地下鉄なりモノレールなりで、浜手幹線の動脈を作る必要があると思います。

荻原 国鉄駅もそうだし、阪神の元町駅にいたっては建った当時のままなわけです。駅側に任せていてもなかなか動かないだろうから我々地元も金を出さなアカンと思います。そうやって協力をとりつけていかなあきません。

鳥越 メリケンパークにしても、地元から金を出して動く歩道やエスカレーターなどの施設をつくっていくようにしていかなとね。

荻原 それにはみんなが足並みを



ショッピングエリアは2眼レフでないとも繁栄しない。三宮とともに元町の繁栄なくして、神戸の将来はないといっても言い過ぎではないだろう

揃えてやっていかないとね。分担金すらかなかスムーズにいかない状況なんやし。

鳥越 分担金を払わん一部の人は諦めまひよ。前へ行けばついてくる人はついてくるやろし、荒事でやっていつて現状を打破せなあきませんわ。

★新しいものを生む努力が大事

秋澤 センター街にはたけのこ会といって若い人の会があるそうです。講演を頼まれているんですが。元町にはそういう若い人の会がないみたいです。

荻原 一番街には婦人部や青年部があるんですが、自分の仕事に熱中しすぎて町のお世話までできてないのが実情なんです。予算もあるのに使い切っていないですね。

秋澤 将来を考えると若い人を育てていかなアキませんわね。組織化して、勉強させて。今更になくても将来のためにね。

荻原 それに遊ばせることも大切やと思います。固いことばかり言っても集まりませんから、遊びに行かせて何でも見させる。また親睦も深まりますね。

秋澤 若いモンだったら過激なことも言えますし、そういう過激な力が新しいものを生み出す源泉になりますしね。

安達 このあいだも下村さんと話

してたんやけど、元町に神戸の有名なお菓子屋全部ひっぱたらどうやろ言うてね。元町にズラーと有名なお菓子屋が並んだら一つの個性になるやろいうてね。(笑)

それと営業時間の話も出てたけど、夜行型の商店街にすべきやと思うね。

荻原 賛成ですね。その店の状況で早く閉めなアカンのでしたら、シャッターをおろして真っ暗にするんやなくて、灯りをつけて、ウインドーを見えるようにしてもらいたいですね。店の改造時お願いしてるんやがなかなか聞いてもらえないですね。何もしないところは何も生まれませんわ。

下村 うちには10日に寄席やってますやろ。毎回250人ぐらい集まっていますけど、はねた後、そそくさと帰っていくんですね。なんでか言うたらまわりが暗いから怖いいうんですわ。

安達 毎月10日、夜店でもしませうか。(笑)

鳥越 元町の場合、顧客サービスがないから、年何回か夜店をやるのはええかもしれせん。ある程度経費なんかかかって損失もあるやろけど、若い顧客層なんかにアピールしていきける思う。

荻原 元町をよくするためみんなが一致団結して、知恵やお金を出しあっていくべきやと思います。

母娘二代で女性の トータルエイジを磨く

エリザベス美容院 畑尾芙久子・宇多子さんを訪ねて

9月15日の敬老の日に六甲山ホテルに於て、「35周年記念ショー」を開いたエリザベス美容院。親子二代に渡って、持ち前のバイタリティーを発揮し、お客様との厚い信頼関係を育てながらこの美容院を築きあげ、「今日まで精一杯生きてきた」と胸を張って私達に示してくれるオーナーの畑尾芙久子さんと次女の畑尾宇多子さんにインタビュー。

——まず最初に、「35周年記念ショー」を拝見させていただきましたが楽しいショーでしたね。

畑尾(芙)「ありがたいございます。35年の歩みの総まとめとなったこのショーで、スタッフ全員が一丸となって、出せる力を全て発揮することができました。また、長年続いて来て下さるお客様など総勢150名の方のお顔を



晴れの日に母娘で

見ていますと、こちらの感激が全員に響き渡っているようで、本当にありがたいことだと思っております」——また宇多子先生、神戸市優秀技能賞受賞おめでとございます。今のお気持ちを聞かせ下さい。

畑尾(宇)「思いがけないことではあったんですけど、15年間この道一筋に磨きあげてきた者に与えられるこの賞をいただき、大変光榮に思っております。私がこの賞をいただけたのも自分自身、常に勉強しながら、今でも厳しい先生方のご指導の下で鍛えられているからなんです。私のことは、17年間続いているヘアの恩師である京都の村橋英子先生が、着付けでは母が、またメイクにおいては鎌田誠先生という立派な先輩方が導いて下さり、常に厳しい目で私を見ていてくださいました。私はただそれに答えて、無我夢中に行ってきただけです。ただ今は、「今やっていることがこれなんだ」という実感が、受賞によって沸いてきましたね」

——ショーでも発表された「エイジ」の論文が宇多子先生の17年間の結晶なんですね。

畑尾(宇)「そうですね。年輪を積み重ねてきた女性が、ある日自分を振り返った時、また自分を美しくすることを忘れていた時、思い出してほしいんです。自分を高めるためにメイクをすることを。40代の女性にとって若き日々に美しさを求めることは、社会情勢が許しませんでした。だから今からなんです。そのためエリザベスで

は、今、ヘアーの合間にメイクアップをしてさしあげて
います。少しずつでも心を開いてもらい、年輪を重ねた
味わい深い人生が、人間の顔によって表現できることを
わかっていただくためです。本当に美しくある人は、無
邪気さを忘れず、人生に逆らわずに生き、明るい気持ち
を常に持てる人です。私は、年輪を重ねた女性にこそ本
当の美しさを求めて頂きたいんです」

——立派な宇多子先生という後継者もできた今、35年を
振り返ってみていかがですか。

畑尾(美)「私は女学校を出てすぐ、昭和5年にこの世界
に入ってから、唯々信じる道をまっすぐに歩いてきまし
た。私は少々向う見ずで、徹底的にやる性格で、人の倍
は苦労しながら、やっぱり、普通の人とは違っていいん
でしょうね(笑)。近頃は人生の積み重ねなんでしょう
か、信仰を持っており、天の理を信じながら、人事を尽
くして天命を待つ」というところです。やることまで
やれば、あとは天の神様だけが往く先を知るんですか
ら」

——子供のときから美久子先生を見てきた宇多子先生に
とって、どんなお母さんだったんでしょうか。

畑尾(宇)「まるで父親が二人いるようでしたね(笑)。
私は母のようににはならないと小さい時は考えていました
(笑)。でも、私は覚えてないんですが、よく母に『大き
くなったら私が、お母さんを楽させてあげる』なんて言
ってたらいいんです。きつと負けず嫌いで、いい格好し
いの私は、兄妹の中の誰よりも自分が母を助けて上げた
い、という気持ちが強かったみたいです」

——時代は変わって行きますが、美容界において美久子
先生はいかが考えですか。

畑尾(美)「いろんな面で変化してきています。変わらな
いのは精神面しかないんじゃないでしょうか。それで
も、私の花嫁さんだけは変えるつもりはありません。一
生に一度新鮮な気持ちになっていただくよう、清く、
正しい姿の花嫁を創り続けていきたいです。それに

勿論、時代に沿っていく若い人達にも常に目を向けてい
きたいですね。未だにインタン気分で頑張りたいたも
んですから(笑)」

——最後にお二人の夢は？

畑尾(美)「自然に任せるしかありませんね。世の中どう
なるかはわかりませんから。ただ私共のショーを楽しみ
にして下さるお客様との触れ合いを続けていくために
も、何年かに一度は盛大に、ショーをやりたいですね」

畑尾(宇)「私は具体的な夢というよりも、まだまだ自分
を磨いて行きたいです。自分をいじめつづけるながら我欲
を無くし、常に何かに向かっていくつもりでいます。そ
うすることによって、天からのインスピレーション
というか英知のようなものを察することができるとは
ずです。人間のお洒落は、トータルエイジを磨くこと
であり、それが女性に生まれた限り、死ぬまでの宿命
ではないでしょうか」



スタッフによってメイクされた華麗な装い

SERIZAWA WINTER COLLECTION '83



季節風と、きらめく。

季節のコートは
デリケートな情感を
秘めています
匂やかに、鮮烈に。



serizawa
KOBE

- 本店 神戸市中央区三宮町3-1-8
TEL.078-331-1695
■さんプラザ店 ■センター街店
■さんちか店 ■メンズセリザワ
KOBE・OSAKA・TOKYO・KYOTO・HIMEJI

80th ANNIVERSARY
80周年記念

THE MEMORIAL FAIR

ザ・メモリアルフェア ●11月20日まで開催中

★サンクス スポット 80周年の感謝の気持ちをこめて
期間中各店頭からお届けするワンポイントセール



関西ではじめてのルイ・ヴィトン直営店、 神戸に誕生。

ルイ・ヴィトン神戸直営店

神戸市中央区元町通り3丁目4番9 TEL.078-391-3261(直)

まだ旅というのが、王侯貴族を中心とした限られた人々だけの贅沢なものであった時代から
海外旅行が身近なものとなった今日に至るまで、つねに旅行鞆の基準でありつづけてきたルイ・ヴィトン。
1854年の創業以来、ルイ・ヴィトンが製品づくりに注ぐその頑固なまでの完璧主義は変わることがありません。
現在日本においてルイ・ヴィトン本社と契約を交わしている正式なブティックは、9月10日に誕生した神戸直営店を含めて16店舗。
これら私どものブティックのみが、豊富な品揃え、パリ本店で研修を積んだ商品知識豊かなスタッフによるコンサルティング、
そして、優れたアフターケアとルイ・ヴィトンの完璧主義に基づく一貫したサービスを、提供することができます。
しかし最近、巧妙な販売手法でニセ物が多数売られており、不幸にもその被害にあわれた方も多ようです。
心貧しいニセ物づくりの手で汚された、まがい物やコピー商品であなた自身の手を汚さないためにも、
さらにルイ・ヴィトンの比類のない品質、妥協のない精神、所有する本当の喜びを知っていただくためにも、
ルイ・ヴィトン製品は、ルイ・ヴィトン ブティックにて適正な価格で安心してお求めいただくようお願いいたします。
関西地区ではじめてのルイ・ヴィトン直営店が、神戸元町にオープンいたしました。ぜひ一度、お立ちください。

LOUIS VUITTON

MALLETIER A PARIS

MAISON FONDÉE EN 1854

●コピー商品の製造はもとより、コピー商品をコピー商品として販売することも、法律により禁じられております。



ルイ・ヴィトン本社と契約を交わしている正式なルイ・ヴィトン プティックは以下の16店です。

札 幌:丸井今井札幌本店 TEL.011-281-1151(代)	横 浜:横浜高島屋店 TEL.045-311-1251(代)	神 戸:神戸直営店(元町通り3丁目) TEL.078-391-3261(代)
東 京:銀座直営店(並木通り7丁目) TEL.03-574-0507(代)	名古屋:松坂屋名古屋本店 TEL.052-251-1111(代)	広 島:福屋八丁堀店 TEL.082-246-6111(代)
高島屋東京店 TEL.03-211-4111(代)	京 都:高島屋京都店 TEL.075-221-8811(代)	博 多:高島屋サンローゼ博多店 TEL.092-713-8166(代)
高島屋サンローゼ赤坂店 TEL.03-239-3413(代)	大 阪:アン・ロワイヤル阪急17番街店 TEL.06-371-1061(代)	
西武百貨店池袋店 TEL.03-981-0111(代)	アン・ロワイヤルホテル日航大阪店 TEL.06-245-5252(代)	
西武百貨店渋谷店 TEL.03-462-0111(代)	高島屋大阪店 TEL.06-631-1101(代)	
	西武ビサ大阪ロイヤル店 TEL.06-445-1290(代)	

KOBE EXCELLENT SHOP

〈ウネ〉

ハイカラ神戸の
伝統が育んだ
格調ある専門店

●このシリーズはファッション都市KOBEへの
私たちの願いをこめて...

★世界のオシャレをお届けする

ウネ
KOBE UNE

神戸市中央区元町通1丁目4-13 ☎331-3112

★よろず御機衣縫上處

神戸シヤリ

神戸市中央区三宮町3丁目1-6 ☎331-2168

★オートクチュール

マスターニュートン

神戸市中央区北長狭通3丁目12-14 ☎331-1818

★婦人帽子

maxim
マキシム

神戸市中央区北長狭通2丁目6-13 ☎331-6711

★舶来品ブティック

Sanohe

神戸市中央区元町通2丁目5-7 ☎331-4707

★欧風家具・設計・創作

永田良介商店

神戸市中央区三宮町3丁目1-4 ☎391-3737〜9

★本格派の人々に愛される

ヨシオカ

神戸市中央区三宮町3丁目1-9 ☎331-5190



'83~'84 NEW COAT COLLECTION

- | | |
|-------------------------|-------------|
| ①皮革毛皮付コート | ¥ 1,380,000 |
| ②皮革ジャンパー
(ゲラルディーニ) | ¥ 390,000 |
| ③アルパカWコート
(ウネオオリジナル) | ¥ 32,000 |
| ④アルパカ横柄コート | ¥ 380,000 |
| ⑤プルゾンスーツ
(サンバレンチノ) | ¥ 84,000 |



POETIC SCENE IN KOBE

November



今井祥子さん〈寝屋川在住〉

目下花嫁修業中の今井さんは、阪急ファイブ店のアダルトな洋服が気に入っています。好みの色“赤”と“黒”でキメて頂きました。

(ジャケット¥38,000 パンツ¥20,000
ベルト¥8,000 すべてエイドリ)

POETIQUE

KOBE
まさ

- 神戸 さん ぶら ざ 店
さ 磨 ち か 店
須 巴 テ イ オ 店
千 里 阪 急 地 下 街 店
阪 急 フ ァ イ ブ 店
西 武 高 槻 店
泉 北 パ ン ジ ョ 店
阪 急 ファ ミ リ ス ト ア 店
西 武 大 津 S C 店
- 宝塚 塚 店
■大津 西 武 大 津 S C 店

ADRI

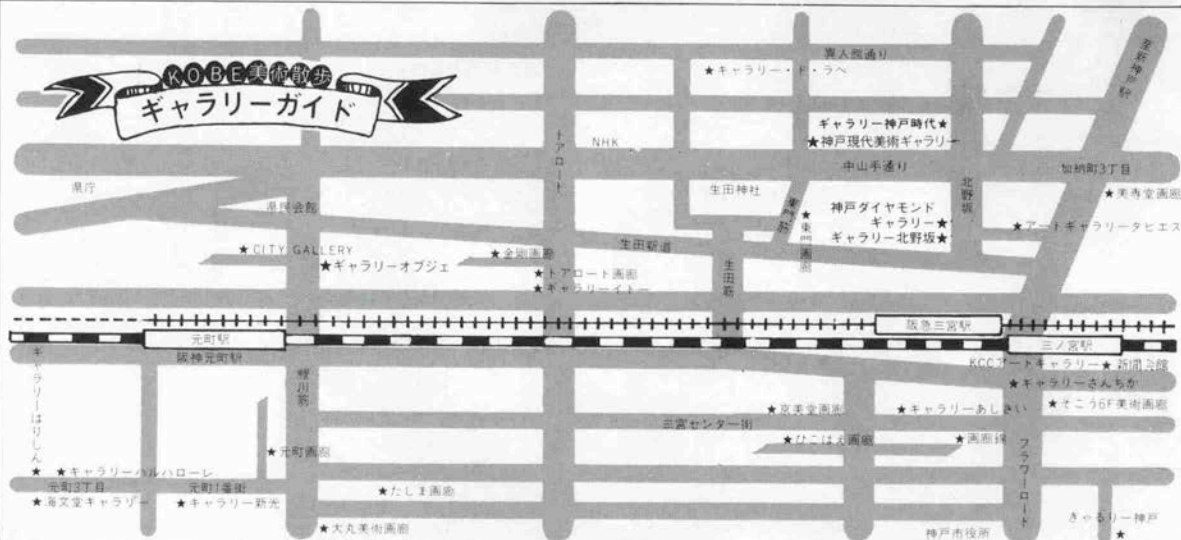
洗練された知的スペース

ファッションビルの3Fにあるだけに、洗練されたカルチャー空間といった感じ。それもそのはずで、山越さんは文化センターの仕事にも携わっている。「生け花展や陶芸が主力です」との方針だけに女性客が目立つ。「レンタルだけでなく独自の企画も考えたい」との抱負も。作品の販売促進に力を入れて実現したい意向だ。文化の香り漂うスペースがここにある。



ギャラリー
ギャラリー
パールローレ
山越芳和さん

GALLERY AND
PEOPLE 7



画廊 薬

1～6 有田名窯作家展
8～13 信保周子染の会
15～20 第2回3人つくね展
22～27 第35回日本海事検定
美術部展
29～31 第16回創作版画協会展

神戸市中央区三宮町1丁目
6-3 (パレックス東隣)
☎ (078) 391-4137 月曜休

画廊 錦

3～8 瑠璃の会ガラス絵展
12～20 パルコグラフィ展
24～29 かたつむり会作品展

神戸市中央区三宮町1丁目
5-30 三宮センター街
☎ (078) 331-1721-3水曜休

ギャラリー あじさい

1～12 あじさい日本画展
15～20 藤井直子展
22～27 宮脇成之展
29～31 菅原浅人展

神戸市中央区三宮町1丁目
8-11-305 さんプラザ3F
☎ (078) 331-1639-1067

SALON& GALLERY (北野坂)

神戸時代

1～15 森鈴子作品展

神戸市中央区中山手通1丁目
23-10 モンシャート・コトブキ
ビル1F ☎ (078) 242-3557
喫茶(昼)土日休・スタッフ(夜)日曜休

ジョイント ギャラリー

1～30 森鈴子作品展

神戸市中央区三宮町1丁目
6-18 ジョイント3F
☎ (078) 331-2046